



<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

★10月のテーマと内容

	テーマ	内 容
0才児	楽しい手遊び	保育者の真似をして体を揺らし、手を動かして全身で手遊びを楽しむ。
1才児	歌は楽しい	季節の歌や食事の歌を覚えて口ずさんだり、曲に合わせて楽器を鳴らしたりして歌を楽しむ。
2才児	たくさん体を動かそう	鬼ごっこで走り回ったりボールを投げたり、うんていに挑戦する等、戸外でたくさん遊び体を動かす。
3才児	食事のマナー	箸の持ち方、姿勢、おかわりの仕方など食事のマナーに気を付けながら、おいしく食事をする。
4才児	はじめをつけよう	楽しい時間はみんなで楽しみ、話を聞く時は手を止め静かにするように気持ちを切り替えていく習慣をつける。
5才児	物を大切に	自分の物を大切に、丁寧に使うことを心がける。使った後は元の場所にきちんと片付け、整理整頓の習慣を身につける。

★10月のプラン

- 2日(土) 第53回 運動会
 <すみれ組・ばら組・ゆり組>
 <<雨天の場合 3日(日)>>
- 7日(木) 運動会ごっこ
 <もも組・さくら組>
 <<雨天の場合 14日(木)>>
- 15日(金) 弁当日
 ※ゆり組弁当遠足中止
 <<園庭開放中止>>



10月の楽しいイベントといえばハロウィン。職員による劇とダンスで2クラスごとにハロウィンパーティーを楽しみます。ホールや保育室を子どもたちの作った作品で飾り付けてハロウィン仕様に！研修で教わったバルーンアートに職員が挑戦し、ゆり組の子どもたちと一緒にカボチャのバルーンを作ります。他にも黒猫やオバケも作ります。今から楽しみです。



子どもたちが運動会を通して満足感や達成感を味わうことで自信を持ち成長できるように、当日は大きな拍手をお願いします。

ゆり組 植村佳純

4月から練習している柔軟体操と鉄棒、マットの連続技を披露します。指先まで意識して、ひとつひとつの技をカッコよく決めます。フラッグダンスの振付はすぐに覚えてやる気満々のみんな。旗をあげる高さやタイミングを揃えることをがんばりました。「心をひとつに」を合言葉にひとりひとりが意識し、グループの中では意見を言い合うことでより団結が深まり旗も揃うようになりました。24人で力を合わせて作り上げた演技。保育園生活最後の運動会をカッコよく締めくくります。



ばら組 安養寺優奈

すみれ組 森本朋子

赤・黄・青の3色のカラー手袋とサンバイザーを付けて踊ります。元気ポーズ、笑顔ポーズ、グッドポーズがびたりと揃いカラー手袋が映えて“カッコイイ”ところにご注目。4才児らしく隊形移動にもチャレンジ！広い園庭の移動には時間がかかりますが、しっかり練習して自分の位置を覚えしました。当日はかわいくて元気いっぱいダンスでみんなの愛が100パーセントお客さまに届きますように。

4月から取組んできた運動遊びの練習の成果を披露します。それぞれが目標を持ちがんばる姿を見て下さい。できなくても「やってみよう！がんばるぞ！」という気持ちで取り組みました。またダンスはカラフルな布を持ち踊ります。みんなで考えたかわいいポーズもみどころです。すみれっこが振る綺麗な布が青空のもとに揺れるところをお楽しみ下さい。運動会の最後は大人VS子どもで玉入れをして大いに盛り上がりましょう。

★運動会ごっこのみどころ

さくら組 和田夏実

初めてのかけっこ。「よーいどん」の合図で、ゴールまで15mを一生懸命走ります。また、今まで練習してきた平均台を歩く、マットでごろごろ、跳び箱からジャンプを披露します。最初は怖くて保育者と手を繋いでいた跳び箱からのジャンプは、繰り返しチャレンジするうちにひとりですることができるようになってきました。ダンスはみんながアイスクリームに変身してアップテンポな曲で踊ります。ジャンプをしたり、回ったり、振りを覚えようと一生懸命でした。かわいいダンスをお楽しみに！

もも組 小田嶋幸恵

ダンスの曲は「フルーツポンチ」子どもたちが7種類のフルーツの頭飾りをつけて踊ります。また、ダンスの間に大好きなおとうさん、おかあさんの所まで走って行くかけっこもあります。ダンスの後は親子でフルーツを取って、フルーツ玉入れ。今年のもも組はフルーツづくしです。練習のたびにハプニングが起こるので、当日はがんばって走ってくれるかな？途中で立ち止まらないかな？と今からハラハラドキドキです。

<編集後記>

夏の間元気に鳴いていたセミが、いつのまにか秋の虫の美しい声にかわり、いよいよ秋本番。虫が鳴くのは「オスがメスを惹きつける＝子孫を残す」という大切な意味があるとか。また虫が鳴く最適な温度があり、暑すぎたり寒すぎたりすると鳴けなくなるそうです。しかし最近では地球温暖化やヒートアイランド現象により子孫を残せず虫の数が減ってきているそうです。虫の声がいつまでもきけるような環境を守っていきたいと思います。(藪)